

(大阪)

創立80周年に産業機械のパイオニアが描く成長戦略 チーム力強化に繋ぐ「HISAКАMIND」



竹下 好和 社長

(1902)

工　　かな暮らしを実現するプレート式熱交換器に始まり、食や医療の安全性確保に欠かせない殺菌装置、衣料や産業資材を染める染色仕上機器、様々な産業の流体制御に貢献するボールバルブなど、数々の「日本初」「世界初」の製品を生み出してきた株式会社日阪製作所。主力製品のほとんどが国内トップシェアを誇り、あらゆる分野の安全・快適・便利を支え続ける同社は今年5月に創立80周年を迎えた。

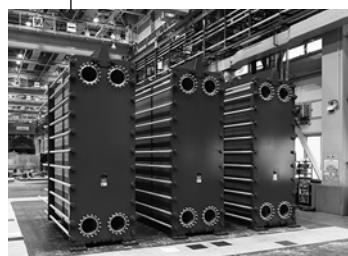
一つ一つの製品の性能や品質の高さはもちろん、『お客様のために』という意識で最後までやり抜く姿勢が評価され、事業領域を拡大してきました。幅広い業界の取引先とお付き合いしていることが当社の強みです」と話す竹下好和社長は2017年の社長就任後創業100周年を見据えた成長戦略を描いてきた。その中でこれまで脈々と受け継がれてきた経営理念に立ち返り、改めて事業活動に活かしていくこうと思い立つ。社員主導で刷新を図り、21年に完成した新経営理念「HISAКАMIND」は、DNAとして継承してきた社訓「誠心(まごころ)」と、社是・五原則・行動指針の4つで構成される。

「社員たちをまとめるためにも明確な理念が必要だつたのです」と語る竹下社長が特に重視するのが「より高く、より広く、より深く」を根幹とする行動指針。背景には、人事部門を「人間部」と呼び、「社員は最大の財産」として大切にする社風がある。

「技術力で生きるために必要なことは最終的に『人』に集約されます。社員には楽しく、やりがいを感じながら挑戦し続けてもらいたい。どんな仕事にも高い視点と広い視野、深い探求心を持って、自分たちで質を上げられる集団として成長して欲しいですね」(竹下社長)

「社会に貢献できる当社は、もつと存在感を高められるはずです」(竹下社長)23年度に奈良県生駒市で新工場が稼働するという同社。「製造で生きていく」と決意を語る竹下社長は、自社の成長が日本の製造業復興に寄与すると考える。

「社会に必要とされるモノづくりで働く場を提供し続けたい。他業種とも協力し独自のQCCサークル活動を

CO₂回収用プレート式熱交換器

鴻池事業所

【会社データ】
本社＝大阪府大阪市北区根崎2-12-7 清和梅田ビル20F
TEL＝06-63363-10006
設立＝1942年5月
資本金＝41億5000万円
(東京証券取引所プライム上場証券コード6247)
従業員数＝648名(単体)
919名(連結)
売上高＝300億円(連結)
事業内容＝産業機械製造販売(プレート式熱交換器、食品機器、医薬機器、染色仕上機器、ボールバルブ等)
<https://www.hisaka.co.jp>